

都民ファーストの会

豊島区議団・民主の会

発行元

〈都民ファーストの会 豊島区議団・民主の会〉

区政の事はお気軽にご相談ください

■ 〒171-8422 豊島区南池袋 2-45-1-9F

■ TEL：03-4566-2946

■ FAX：03-3980-2346

■ e-mail：info@tominfirst-toshima.tokyo

新型コロナウイルス感染症への対応

中国・武漢市から発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界で猛威を振るっています。相次ぐイベント等の中止、小中高の休校などがあり仕事の調整を余儀なくされた方々、外出自粛などで売り上げに影響が出ている方々など、区民生活にも大きな影響が出ています。刻々と状況が変わる中で、会派としての提案や要請活動、議会としての対応などを図ってきました。引き続き都や区など行政と密に連携し、できる限りの対策に取り組んでまいります。ご相談など、お気軽にお寄せください。以下、これまでの主な活動や情報など掲載します（3月18日現在）



◆ 会派としての区への提案

- 2月4日、会派から区へ対応を求める緊急要望。外国人への発信方法の工夫など情報発信、中国への渡航歴のある方への差別を防ぐ対応、重症化リスクが高い方への資器材確保などの検討、窓口業務等の職員などの感染防止への配慮、などの対応を求めました。

- 3月6日、私たちの会派と公明党豊島区議団の2会派合同で緊急要望。急きょ区立小中学校が休校になったことに伴う対応策、中小企業の事業活動や資金繰りに対する支援策を速やかに講じることを求めました。

要望後、学童クラブへの昼食の有償提供（3月13日、23日実施）、就学援助世帯への臨時的な公費補助、給食食材のキャンセルに伴う費用の公費負担、区内小企業への支援強化策などが実施されています。

- 予算特別委員会などの審議にて、対応の確認や提案などを行いました。



◆ 議会としての区への提案、対応

- 2/28、全6会派連名で区へ要望。委員会等へ極力必要な職員のみ出席、会議など連絡調整方法の工夫、審議中の水分補給等奨励、マスク着用のまま質疑・答弁を可能とする、体調不良の場合は躊躇なく欠席する、などを求めました。

- 3/12、正副幹事長会で定例会の7日間短縮を決定。議決未了リスク、対策に当たる部署を極力審議等で拘束しないことなど考慮。

豊島区、東京都、政府も様々な安全面の他、経済対策など様々な施策を講じています。

最新の情報は各行政機関のHPをご覧ください。各種相談窓口、私たちの会派又は各議員へお問い合わせください。



細川正博

会派幹事長
子ども文教副委員長



里中郁男

会派副幹事長
区民厚生委員長



永野裕子

行財政（特委）委員長



河原弘明

環境・清掃（特委）委員長



星京子

監査委員



中澤まさゆき

副都心（特委）副委員長



元谷ゆりな

副都心（特委）小委員

第1回定例会

令和2年第1回定例会は新型コロナウイルス感染症への対応等で当初より1週間短縮し、2月12日から3月17日まで行われました。上程された議案は37件、請願1件、陳情6件。2月18日、19日に行われた会派を代表しての一般質問には、細川正博議員、河原弘明議員が登壇しました。

細川正博議員からは「**集中投資を一区切りした本区の将来像について**」と題し、令和2年度予算について、感染症対策・テロ対策について、教育都市としまの将来像について質問。特に教育関係の質問に時間を割き、金子智雄新教育長の基本的な考えを確認。

河原弘明議員からは「**明るく活気のある街づくり**」と題し、池袋を中心とした事業の検証とその成果について、トキワ荘マンガミュージアムのオープンと今後について質問。竣工が迫るマンガミュージアムを商店街振興へとつなげる提言などを行いました。

長崎健康相談所・児童相談所等複合施設改築工事などの契約議案5件、国民健康保険料率改定のための国保条例一部改正、区民ひろば椎名町を南長崎第四区民集会室の場所へ移転し改築整備をすることに伴い南長崎四丁目児童遊園を廃止する児童遊園条例の一部改正、としまみどりの防災公園(IKE・SUNPARK)の指定管理者指定、池袋図書館等の改修工事計画変更に伴う指定管理期間の延長、令和元年度一般会計補正予算第6号(20.6億円規模。基金積立26.8億円、南池袋二丁目C地区再開発事業の遅れに伴う補助金減額△7.3億円など)などが可決。なお、令和2年度予算の審議は予算特別委員会にて行われました。



定例会最終日には、副区長及び教育委員の選任、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙がありました。

国土交通省出身の呉副区長が3月末で退任することになり、後任として**本区初の女性副区長となる高際みゆき氏**(東京都政策企画局秘書事務担当部長)が選任されました(高野区長の左隣が高際氏)。教育委員は3名が任期満了。樋口委員が再任、新たな教育委員として、**村瀬愛氏**(千登世橋中PTA会長など)、**酒井朗氏**(上智大学総合人間科学部教授など)が選任されました。



令和2年度予算特別委員会



豊島区議会第1回定例会では、予算特別委員会が開催され、我が会派は、**永野裕子議員・河原弘明議員・中澤まさゆき議員**が委員として審査に臨みました。新型コロナウイルス感染症対応のため議会日程を早め、委員会日程も変更して3/2～16まで集中審議を行いました。

令和2年度の一般会計当初予算は、約1,283億、前年度に比べ約215億の減、14.4%のマイナスと、将来展望を見据えたメリハリのある予算として提案されました。今までで2番目の予算規模ながら7年連続で財政調整基金の取り崩しを行わない安定した予算編成といえます。

新規拡充事業は全269事業で約45億円を計上され、前年度まで誰もが主役になれる劇場都市「国際アートカルチャー都市」の取り組みとして、都市整備への集中投資が行われましたが、令和2年度は未来の世代に向けたレガシーとなるまちの魅力と価値を最大限引き出し、「ひと」が主役となる様々な事業への投資を重点に予算配分されたと評価。会派として提案してきた、「**インクルーシブ公園**」も造幣局跡地に整備される「キッズ・パーク」や公園遊具の整備に採用されることが示されました。多様化するニーズに対応し、公と民の役割分担と連携も強力すすめる考え方なども確認。

刻々と変わる**新型コロナウイルス感染症に関する課題についても重点的に質疑**を行い、一斉休校となった子供たちに関する対応・中小企業への支援策等の要望も行いました。会派としては、地域課題を反映した適切な予算配分と判断し、一般会計、3特別会計予算承認に賛成しました。

